

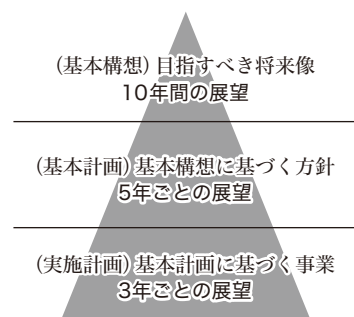
シリーズ さあ 次の10年へ ～舟形町総合発展計画～

第1回「夢コンパス」10年間を振り返る

舟形町総合発展計画は、まちづくりの基本方針を示した「コンパス」のようなものです。現在の第6次総合発展計画は、平成21年度から今年度までの10年間のもので、舟形町のまちづくりはこの目標に沿って行なってきました。

来年度からは新しい町の計画で進むことになりますが、まずは、この10年間どんなことに取り組んできたのかをまとめました。

第6次舟形町総合発展計画の構成



今年
10歳

渡辺 蓮さん
(紫山)



第6次舟形町総合発展計画 2010～2019 出あい ふれあい 支え合い ～ 新たな「結い」の創造 ～

基本構想・基本計画をもとに次の施策に取り組んできました。

1. 安心して暮らせる住み良いまちづくり

定住促進、道路・交通網の整備、情報通信網の整備、保健・医療の充実、
克雪・利雪のまちづくり、消防・防災体制の確立、防犯・交通安全対策、
環境保全（地域・自然）、生活環境の整備、新エネルギーへの取り組み

2. 産業の振興と地域が活性化するまちづくり

農業の振興、林業・内水面漁業振興、6次産業化の推進、
工業の振興・企業誘致、商業の振興、観光の振興

3. 子育て・健康・教育の充実したまちづくり

子育て支援事業の展開、保・小・中一貫教育、生涯学習の推進、
芸術文化・文化財保護、スポーツの振興、健康・体力づくり、
高齢者の生きがいづくり

4. 互助・共有・自立による協働のまちづくり

地域ボランティア、自立型地域づくり、福祉のまちづくり、女性・若者のまちづくり、
男女共同参画、国際交流・国際化社会、行財政運営、広域行政・地方分権・地域主権

今年
10歳

佐藤 莉央さん
(舟形第4)



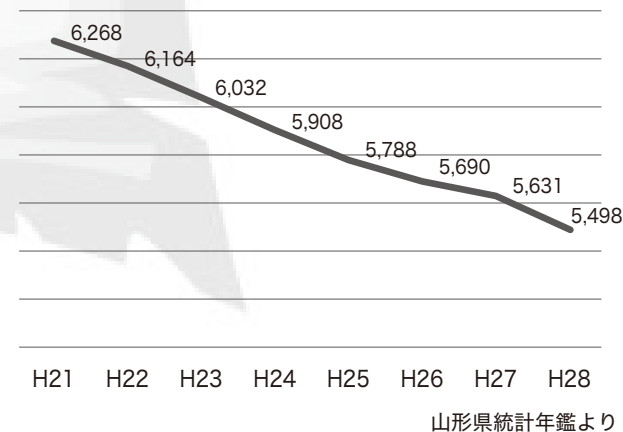
この期間中の取り組みについて、町では担当課を中心に成果や今後の課題について検証しました。それに対して、舟形町まちづくり審議会から意見をいただき、次期計画に生かします。概要は次の通りです。

舟形町まちづくり審議会の検証の概要

- (1) 人口減少は避けられないが、よりお互いの顔が見えるまちになるということでもある。「地域のつながり」をこれまで以上に大切にしまちづくりを進めていただきたい。
- (2) 町民が望んでいるのは、「安心して暮らせ、いきいきと活躍できるまち」である。今町にいる人を大切に、それを念頭にまちづくりを進めていただきたい。
- (3) 若い世代の定住やUターンを促進するためには、働く場の確保が重要である。そのため、現在、新庄最上地域にある魅力的な仕事を、広く紹介していくような取り組みを推進していただきたい。
- (4) 高齢化が進む中、健康寿命の延伸に向けて、地域で支え合う環境づくりや心とからだの健康づくりなどの取り組みを進めていただきたい。
- (5) 各政策の成果指標について、それぞれの進捗状況等を適切に把握できる指標の設定に努めるとともに、どのように目標値を算出したのかが分かるよう、積算根拠も別途示していただきたい。
- (6) 従来の計画期間にとらわれずに、P D C Aサイクルを構築しやすいスパンのものにするとともに、計画そのものも町民に分かりやすく、親しまれるものを目指していただきたい。

※「Plan(計画)」、「Do(実行)」、「Check(評価)」、「Action(改善)」計画から改善までの1つのサイクルのこと

計画期間中の舟形町の総人口の推移(人)



今後は、新しい計画を策定するために舟形町総合発展計画策定委員会を設置するなどして進めていきます。

▼問い合わせ／舟形町まちづくり課企画調整係
☎(32)0104